

すっかり朝晩は涼しくなり、秋めいてきました。
会員校の皆さんには10月期の受け入れでお忙しいことと思いますが、
新しい挑戦に目を輝かせる留学生に、元気をもらう季節でもあります。

◆ 新しいパンフレットを上部団体に届ける

- 9月29日（金）午前、東京千代田区九段にある全国専修学校各種学校総連合会（全専各連）を訪ねて、菊田薫事務局長に新しいパンフレットを手渡し、懇談しました。全専各連は、私たちの業界のまとめ役を務めている全国組織であることはご存知の通りです。

古屋和雄事務局担当理事と西村学事務局長の二人からは、再出発した全専日協の目的やこれから目指す事業内容などについて説明しました。

菊田さんは全専各連の事務局長として28年というベテランで、色々貴重なお話を伺う事ができました。意見交換の後「勿論事業も重要ですが、30万人という多くの留学生がやってきている今、やはり日本語教育は大切ですね。」と言われたのが印象的でした。

全専各連では、私たち全専日協の武田哲一・岩本仁両副会長をはじめ、多くの会員が全国組織の活動の一翼を担っていますので、今後も一層の連携を図っていきたいと思います。



- またこの日は午後から渋谷区代々木にある公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会（東専各）を訪ねました。ここは東京都にある学校のまとめ役です。対応して下さったのは、真崎裕子事務局長と齋藤正宏企画振興課長でした。パンフレットをもとに私たちの協会の活動について説明し近況を話し合いました。お二人からは「お互い知らないこともあるので今後も特に日本語教育についての情報を聞かせて下さい。」とのお話がありました。

- 今回2つの上部団体を訪ねてみて、私たちが目指している「教育力の向上」と「情報の共有化」が重要であることを再認識させていただきました。これからも、このニュースレターをお届けするなど、つながりを深めていきたいと思いました。

◆ 「丸の内ビジネス専門学校」の加入を歓迎

- 前回お知らせした通り長野県松本市丸の内にある「丸の内ビジネス専門学校」から加入申し込みを頂きました。各理事にメールで確認の上承認を得ましたので、入会が正式に決まりました。

「丸の内ビジネス専門学校」は1948年に創立され、1988年からは海外からの留学生をいち早く受け入れてきた歴史ある学校です。ホームページのアドレスをご紹介します。(<http://www.marubi.ac.jp/>)

内川 小百合 学校長に、全専日協への期待を伺ったところ「専門学校として高いレベルの教育をしているということを更にアピールして欲しい。」また「アジアの非漢字圏の留学生が増えているので、教師のために10～20人位の小さな勉強会ができれば嬉しい。」とのことでした。

- 現在、入会を検討中という学校が何校かあります。今ですと、作成中の日本語と英語の併記版パンフレットに学校名を掲載することができます。会員になられるのをお待ちしております。



2017年10月3日

全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当